

令和3年度 自己評価及び学校関係者評価書(中間・最終)

輪島市立河原田小学校

評価項目	達成状況	改善の方策 (上段: 中間 下段: 最終)	評価委員による意見 (上段: 中間 下段: 最終)
学力向上	B	<ul style="list-style-type: none"> 児童〇〇が多い。これを下げないよう子ども達の学習意欲や学習内容の理解を高められるよう努力する。 “なぜだろう、解いてみたいな”と思わせる課題や教材の準備をし、引き続き子ども達に”説明”を求めていく。 2学期は育てたい力をより具体的にし、教師が求めることと子どもができるようになったことが同じになるようにねらいを明確にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童クラブにも、自分で課題を持ってきて取り組んでいる。わからないと言しながらやめようとしない。ヒントをあげると「わかった」と満足そう。 やればできる子ども達。 しっかり育成していると思う。
	A	<ul style="list-style-type: none"> 定例の会だけでなく、休み時間や放課後を使って、それぞれの取組を交流しながら、共通に取り組むことで効果を上げていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間や放課後で取り組めている。
	B	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習に関しては家庭と連携を図りたい。予習できそうなところは自学でさせる。(内容を指定) 特別支援学級では本人や親と相談しながら質・量を考えたい。 できていること、がんばっていることは見つけるたび、個別・全体へほめて伝え続けていく。 話は最後まで聞くことを校内で徹底し、1学期よりも学習規律をしっかりと！ 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習は量より質、多すぎるとやる気がなくなる。 保護者により、多くしてほしい人、少なくしてほしい人あり、量の調整は難しいと思う。 自学で予習する習慣が身に付けばよい。人前で堂々と話せる人になってほしい。 社会人になってからも大切な要件。
	B	<ul style="list-style-type: none"> 学習ルールについてはできていない児童にはその都度注意をする、できている児童はその瞬間を捉えてほめていく。その繰り返しで、望ましい姿を児童と教師が共通にもてるようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習を終わらせてから遊ぶ習慣を定着させる。 「自学はノート1ページ埋めればいいんだ」と、大きな字なら数個、計算なら10問くらいで済ませようとする子を「そんなんじゃだめねんよ」とお互い注意しながら取り組んでいる様子が見える。 家の宿題のやる気をどうやって出させるかを困っている。
	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業では教員が喋りすぎないようにしたい。 全員が1日1回は発表できるような機会を設ける。本当に必要があればペア・グループ学習を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 間違えても大丈夫と思えるよう、どんどん発表の機会をあげる。 大人の声掛けで自信をもてる子どもに。 スピーチの機会を設けたらよいと思う。
	B	<ul style="list-style-type: none"> 話すことに抵抗は少なくなってきたらを感じる。話すとき、聞くとき、書くとき、読むとき、相手を意識してできるように育てていく。 	<ul style="list-style-type: none"> スピーチの機会を続けてほしい。
心の教育・健康体力について	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎日全体や個を具体的にほめる心がけをしたい。 子ども達の“できた”を大切に指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> まず、本人が「できた」と感じられる指導を引き続き期待。 これからも良くなったところを、大いにほめてあげて。
	A	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な面談以外でも、児童をほめたり、声掛けをしたりしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に面談、声かけを実施している。 コロナウイルス禍以前は「家族で〇〇へ行き、色々買ってもらったり食べたりした、楽しかったよ」と話してくれたが今はそれがない。
	B	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して特にあいさつ(元気に・自分から・語先後礼)を指導したい。 あいさつ名人に選ばれた児童名を各クラスのおたより等で紹介する。 進んでありがとうが言える子を育てたい。できていない子よりできている子をほめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 何回声をかけても返事がない時がある児童がいる。あいさつできる河原田っ子を育ててほしい。 家庭での教育が必要だと思う。
	B	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の協力が必要な事項については、今後も協力を求め、共に取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での教育を続けてほしい。
読書に親しむ児童を育成している。	C	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちや担任の先生方に声をかけたり図書委員の子ども達と一緒に考え状況を改善したい。 読書通帳を活用し、確認欄に保護者からのサインを必ずもらうように学校から働きかけるようにする。 読書日記の保護者印を必ずもらうように指導する。 学期に2回程度は児童と一緒に図書館へ行き、借りる本について指導する場をもつ。 子ども達がクラスで週に1回でもおすすめの本を紹介する場があってもよい。週末読書は継続していく。 より読書に親しむために、宿題のための読書ではなく、普段の学習や日常から本を読むことへの結びつきを大事にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書好きになると教科の文章問題も理解できるようになるのになあと思う時がある。本好きをたくさん育ててほしい。 自分のおすすめの本を紹介する場を設けることは良いと思う。 保護者として週末に一緒に読書をしたい(読んであげるのではなく聞いてあげる)。 テレビゲームに夢中。読書に親しむのは無理な感じ。 保護者のサイン、コメントが増えるのは必要?減らせば先生の仕事も減るのでは。
	C	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな分野の図書に親しめるように取り組んでいる。今後も続けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> あれもこれも学校に先生に負担が多すぎる。保護者としてやるべき事が! 他分野の本に親しめるように取り組んでいる。 寝る前の読書が良いと本で読んだので最近している。子どもが気に入っているが、布団に入るのが遅くなった時も読もうとするので寝るのが遅くなる日もあって困っている。

心の教育・健康体力について	規則正しい生活リズムを基盤とし、体力・運動能力の向上と健康や安全教育に努めている。	B	・運動会やマラソン大会、なわとび大会などでプラスの言葉かけをしていきたい。 ・スポーツやマラソン大会などの行事を通して、継続的に体力の向上に努める。なわとびの取組をもう少し早める。	・宿題をしていて就寝が遅い。 ・身体を動かすのが大好きな河原田っ子。体力向上頑張って。記録の伸び幅が大きい子を表彰しては…。
	心身の健康を大切にするために、働き方や業務の縮減に努めている。	B	・なわとびの取組を早めたことで、記録の伸びが見られた。規則正しい生活リズムの大切さを授業と生活面、色々な形でくり返し子どもたちに伝えていきたい。	・なわとびを積極的に取組運動能力の向上に努めている。
家庭・地域との連携	保護者に、児童の様子や成長について細やかな伝達がでできている。	B	・こちらは伝えているつもりであるが…。 ・保護者が学校に改善して欲しいことを把握する。 ・成長したこと、がんばったことも連絡帳や電話で知らせていく。	・きめ細やかな伝達ができていると思う。 ・アンケートを記名式にしたこと、意見や要望に対して踏み込んだ対応ができると思う。 ・保護者アンケートに、自分の子どもの態度を反省し、「厳しく指導お願いします」と書かれた言葉にはつとした。こういう保護者が増えることを願っている。
	PTA役員や各委員会と協力して事業を進め、学校と家庭との連携が図られている。	A	・連絡帳を見せないなどの声も聞かれる。児童の良いところを伝えることを心がけ、相談しやすい学校の雰囲気づくりにもさらに努力していきたい。	・きめ細やかな伝達ができている。
地域の人材や自然・各施設など、地域と連携した教育活動を行っている。	PTA役員や各委員会と協力して事業を進め、学校と家庭との連携が図られている。	B	・各委員会、年1・2回のことなのでお互い負担にならないように協力し合いたい。 ・委員会行事がある時は役員とコミュニケーションを意識的に取るようにする。	・コロナ禍でも学校と家庭の連携が図れていると思う。 ・コロナ禍につき、左記評価が正しいとは言えない。数少ない行事だが、協力をお願いします。
	地域の人材や自然・各施設など、地域と連携した教育活動を行っている。	A	・保護者の数も減少してきている。実態に合ったPTA活動への見直しをしながら、家庭と連携して教育活動を進めたい。	・学校が主体的家庭と連携を図っている。
【A：十分達成している（そう思う） B：おおむね達成している（ややそう思う） C：どちらかというと達成されていない（あまりそう思わない） D：ほとんど達成されていない（そう思わない）】				
総合評価意見	中間	・日々大変だと思います。皆違って当たり前。大きく成長している子ども達。ありがとうございます。 ・河原田小学校の先生方は全児童を細部までしっかり見ていることが分かりました。保護者が子ども達に教える場を増やし、ほめてあげれば更に良くなると思う。	最終	・先生方の帰宅時間の遅いのに驚いています。定められた中での教育を進めるのは大変だと思います。 ・子どもたちの自主性が身についていることが分かる。 ・先生方は児童一人ひとりきめ細やかに見ている。保護者は学校に全てを任せるのでなく積極的に教育してほしい。 ・大人でさえストレスが溜まって変になりそうと心穏やかでない人が多い中、河原田っ子はよく頑張っています。先生方には遅くまで児童や地域のためにがんばっていただき心からお礼申し上げます。子雄琴もよろしくお願い致します。